

令和元年度 県立鏡が丘特別支援学校 浦添分校 自己評価(教諭・介助員)の結果 11/21現在

◎ 次の評価基準により評価する。

4 十分達成できた	3 ほぼ達成できた	2 あまり達成できなかった
1 達成できなかった(見直しの必要あり)		? わからない

配布数 (10)	回収数 (10)	回収率 (100%)
----------	----------	------------

項目	No	具体的評価項目	評価(人)					平均評価点 (前年度)	評価点の平均が高い項目(3.5以上)の理由 及び、低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策
			4	3	2	1	?		
教育目標	1	学校教育目標及び学部目標の達成を意識して、学習計画・学習指導に取り組んでいるか。	6	4				3.6 (3.4)	・目標達成に向けて、授業後の振り返り(反省・評価)や単元の振り返り、年間の振り返り等を行い、常にPDCAを意識し、目標達成に向けて学習計画の見直しや学習活動の工夫・改善に取り組んでいる。
教育課程 年間指導計画	2	教育課程及び年間指導計画は、児童生徒の実態に即し、適切に設定されているか。	7	3				3.7 (3.4)	・毎年、年度初めに自校の合わせた指導についてのオリエンテーション、2学期には教育課程に関する研修を行い、教育課程の根拠や各教科領域等を合わせた指導について研修を行っている。年間指導計画も個別に作成、複数の教師でアドバイスをを行っている。
個別の教育支援計画	3	個別の教育支援計画は、児童生徒個々の実態に即し、保護者や関係機関の意見・要望等も踏まえて作成されているか。	8	2				3.8 (3.7)	・年度始めに各児童生徒に対する「保護者の願い」「療育園の願い」を保護者及び療育園に記入してもらい、その願いを踏まえ個別の教育支援計画を作成している。また、家庭訪問、毎月の医教連絡会でも全員の教育支援計画の確認や指導状況等を報告している。
指導・支援全般	4	児童生徒の実態に即した指導体制のもと、適切な支援ができていますか。	7	3				3.7 (3.8)	・研修部、自立活動部を中心に、児童生徒への適切な支援の在り方について、多種の全体研修を実施し、全職員の指導力向上を図った。また「サポートブック」を作成、見直し、活用を通して、各児童生徒の実態に即した適切な支援及び安全な対応を行っている。
学校行事	5	学校(学部)行事は、ねらい、活動内容、運営方法等が適切で、全職員の共通理解のもと、効率的に実施できているか。	8	2				3.8 (3.7)	・学校(学部)行事は、児童生徒の実態を考慮し、時季、活動内容等について全職員で検討、確認及び協働のもとで運営・実施されている。
	6	学校(学部)行事は、事後の反省を十分に行い、絶えず課題の改善に努めているか。	9	1				3.9 (3.7)	・全ての学校(学部)行事の事後に、全職員にアンケート(反省)を取り、アンケート結果をもとに職員会議にて検討、改善を図り、よりよい行事の実施に取り組んでいる。
生徒指導	7	沖縄療育園及び保護者との連携を図り、児童生徒が意欲的で明るい生活が送れるよう生徒指導を行っているか。	8	2				3.8 (3.4)	・全職員で学校生活での児童生徒の成長を喜び合い、毎月の沖縄療育園との医教連絡会で児童生徒全員の情報交換会を実施した。保護者には連絡帳や電話、学校便り等で学校生活の様子と成長を伝え、常に連携を心掛けて意欲的な明るい学校生活が送れるように指導を行っている。
キャリア教育	8	児童生徒のニーズや特性を重視し、実態に合った目標や指導内容となっているか。	8	2				3.8 (3.6)	・「キャリア教育について」の校内研修を行い、本校の児童生徒におけるキャリア教育の在り方について、共通理解を図った。現在及び卒業後も見据え、児童生徒の生活を豊かにするような、創意工夫した学習活動が日々展開されている。
保健・安全 環境整備	9	保健・安全に関わる業務は、各学部、部署との連携を図りながら適切に運営されているか。	9	1				3.9 (3.8)	・保健安全部を中心に各学部、部署と連携をとり、保健・安全に関わる業務は滞りなく、適切に運営されている。(内科・歯科検診、全児童生徒に対する救護訓練、避難訓練、全職員による毎月の安全点検等)
	10	非常時及び緊急時に敏速かつ適切な対応がとれる体制が整っているか。	8	2				3.8 (3.7)	・毎年、各避難訓練、毎学期の不審者侵入対策訓練、一次救命措置法(職員研修)及び全児童生徒を対象とした救護訓練、感染症対策の徹底等を実施し、非常時、緊急時への対応体制を絶えず整えている。
	11	校舎内外の危険箇所の発見に努め、施設・設備・備品の保清・管理・営繕等は適切になされているか。	4	5	1			3.3 (3.5)	
	12	児童生徒の実態に即した校内環境や教育活動に必要な施設・設備は整っているか。	8	2				3.8 (3.5)	・施設・設備の充実に向けて事務部と調整を図りながら備品購入や施設整備を行ってきた。教育計画に必要な施設・設備が整い、より専門性の高い教育ができています。

項目	No	具体的評価項目	評価(人)					平均評価点 (前年度)	評価点の平均が高い項目(3.5以上)の理由 及び、低い項目(3.0未満)についての理由及び改善策
			4	3	2	1	?		
家庭、沖縄療育園、 地域との連携・協力等	13	保護者に対し、適切で真摯な対応がなされ、連携・協力ができているか。	6	4				3.6 (3.7)	・「保護者の立場になって」を踏まえ、保護者と対応するよう常に心掛けている。学校(職員)と保護者との関係及び連携・協力は良好である。
	14	PTA活動(総会、評議委員、研修会、合同清掃、スポーツ大会)の取り組みは適切に運営されているか。	4	5	1			3.3 (3.7)	
	15	地域のセンター校として沖縄療育園との連携・協力及び地域との交流や施設の活用がなされているか。	5	5				3.5 (3.3, 3.8)	・養護教諭や医教連絡会を通して療育園との連携・協力体制を心掛けている。また、地域の「あいのそのこども園」との交流会(27回目)等、長期にわたり取り組みが行われている。また、毎年夏休み期間中に教材教具展を開催し、遊具や教材等を沖縄療育園の入所者に広く開放して遊んで貰う等、生涯学習の機会を積極的に提供している。
校内研修	16	学校の課題や職員のニーズに対応した研修が実施されているか。	10					4.0 (3.8)	・療育園PTIによる全体研修や全児童生徒に対する個別の指導研修、外部の専門家を講師に迎えての研修、及び校内職員の人材活用による研修等を計画・実施。学校の課題や職員のニーズに対応した適切な研修となっている。
	17	研修の成果を児童生徒の指導計画の作成、指導の展開等に生かすことができているか。	5	5				3.5 (3.5)	・研修の成果は、日々の学習活動に活かされており学習内容の幅が広がり充実してきた。指導計画の作成にも研修の成果がよく反映されている。
各部署の運営や連携	18	学校の各学部、部署と事務部とは、互いに連携・協力が図れているか。	6	4				3.6 (3.7)	・少人数の職員のため、「チーム浦分」をモットーに各学部、各部署とも事務部と連携を密にし、全職員による協力体制が図られている。
校務・学部分掌	19	校務・学部分掌は適切で、機能しているか。	1	3	4	2		2.3 (3.4)	・ここ近年の職員減に伴い、全職員で校務分掌を精選する取り組みや業務の効率化、行事の精選等に取り組んできたが、複数の校務分掌掛け持ちからくる煩雑さ、校務分掌精選や削減の限界が不安感となって数値に現れている。今後、各校務分掌等の反省をもとに校務分掌検討委員会等で職員数、規模に応じた校務・学部分掌の精選・見直しを丁寧に行っていく。
服 務 等	20	法令遵守(コンプライアンス)意識をもって業務に取り組んでいるか。	10					4.0 (3.8)	・コンプライアンスリーダーを中心に「不祥事防止の行動」について全職員で確認した。また、事あるごとに教頭より「教職員の綱紀粛正と服務規律の確保」について、全職員へ啓発活動が行われている。よって、職員の法令遵守の意識は高い。
	21	児童生徒の人権に配慮した対応や指導がなされているか。	6	4				3.6 (3.7)	・生徒指導係を中心に、全職員による「本校のいじめ防止基本方針」の確認、保護者への「いじめ(人権)についてのアンケート調査」の実施等を行っている。それらを通して、児童生徒の人権に配慮した対応や指導体制を整えている。